

ニッセンケン分室「思いつきラボ」No. 151

2019 年も 災害の多い年になりました・・・



時の経つのははやいもので・・・と毎年同じことを言っていますが 思いつきラボも 2019 年最後の原稿となります。そして こちらもここ数年同じことを言っていますが・・・今年も災害の多い年になりました。平成から令和に時代が移れども自然環境はますます異常な方向に向かっていくようです。もちろん自然災害がなくなるわけではないのですが 災害への対応の意識をいつも持ち合わせておかなくてはならなくなってきました。2019 年の災害を今一度整理しておきたいと思います。



まず地震ですが大きな地震は前半に多く発生しました・・・と思っていたら 12 月に入って 5 弱が 2 回発生しています。今年は震度 6 強が 1 回と震度 6 弱を 2 回記録しました。震度 5 弱以上も含めると 9 回発生しています。

2019 年 1 月 3 日	熊本県熊本地方	震度 6 弱
2019 年 1 月 26 日	熊本県熊本地方	震度 5 弱
2019 年 2 月 21 日	北海道胆振地方中東部	震度 6 弱
2019 年 5 月 10 日	宮崎県日向灘	震度 5 弱
2019 年 5 月 25 日	千葉県北東部	震度 5 弱
2019 年 6 月 18 日	山形県沖	震度 6 強
2019 年 8 月 4 日	福島県沖	震度 5 弱
2019 年 12 月 12 日	北海道宗谷地方北部	震度 5 弱
2019 年 12 月 26 日	青森県東方沖	震度 5 弱

台風到大雨・・・

地震災害がかすむほど今年には台風や大雨が大きな被害をもたらしました。5月13日の沖縄与那国島で午前中に3回も「記録的短時間大雨情報」が発令されたのです。1時間に100ミリ前後の猛烈な雨が観測された場合に気象台から発表される情報で午前中だけで3回というのはほぼ継続的に降りつづけてることになります。筆者の記憶でも衝撃的なニュースとなりました。同じ地域で大量の雨がえています。集中豪雨やゲリラ豪雨はよく耳にしますが長時間継続型ということになります。被害が大きくなったのは8月26日からの前線に伴う大雨で“令和元年九州豪雨”と名称がついた大雨となりました。

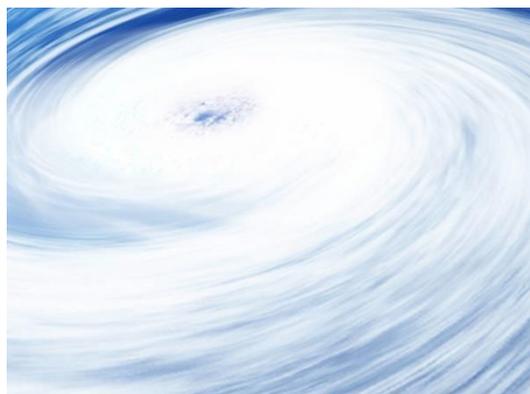
さらに被害が大きかったのが10月25日からの低気圧の影響による大雨で千葉県茨城県福島県中心の東日本太平洋側に被害をもたらしました。その数日前の12日から13日にかけての台風19号も大きな災害となり地盤がゆるんでた影響もあり河川の決壊氾濫が広い範囲で起こってしまいました。雨量もさることながら大雨の地域が広範囲にわたったことが特徴となった災害でした。さきほど集中豪雨やゲリラ豪雨という表現をしましたがいままでには想像もできなかった広い範囲での大雨災害ということになりました。

台風19号と25日からの前線による大雨の被害状況が12月12日に消防庁災害対策本部から報告が発表されてましたがそれによると

人的被害	死者・行方不明者	102
	負傷者（重傷・軽傷）	484
住家被害	全壊	3,081
	半壊	24,998
	一部損壊	26,284
	床上浸水	12,817
	床下浸水	24,474
	その他非住家被害	9,016

という数字になっています。やはり異常な数字なので紹介しておきます。

台風災害では台風15号も大きな被害をもたらせました。こちらは典型的な風台風でゴルフ練習場の鉄塔や電信柱が風圧で倒れて近隣の家屋を押しつぶしたりこちらもあまり見ることのない被害光景になりました。千葉県で風速57.5m/sを記録しました。電信柱の耐風圧の風速基準は風速40.0m/sなのでこちらも想像できなかった災害となりました。風速が40m/sのアナウンスがあったときは電柱や鉄塔の倒壊も意識しなければならないということを知らした災害になりました。



もうひとつ被害の大きかった台風が 台風 10号で“超大型台風”として日本に接近してきたということも記憶にとどめておく必要があります。台風 15号も 19号も“大型台風”で“超大型台風”ではないのでこの規模のものがそのまま上陸すると考えたら・・・考えたくもない被害を及ぼすこととなります。気象予報で“超大型台風”も非常に危険なキーワードとなります。

地震 台風 大雨だけでもこれだけの災害があったのですが 地球温暖化の影響と思われる現象が 5月に記録された北海道 佐呂間町(さろまちょう)の気温 39.5℃という数字です。この数字は気象観測史上で全国での5月の最高記録となりました。5月26日 サロマ湖のある気温の低いとされている北海道が記録保持地域になったとは・・・筆者にとっても想像できない気象現象のつづいた年になりました。災害は毎年起こりますが 対応可能な範囲に収まってほしいと願うしかありません。災害は記憶にとどめ 災害対応のイメージ訓練も必要に感じます。

2019年もこの思いつきラボにお付き合いいただきましてありがとうございます。2020年は異常気象があっても災害の少ない年であることを願っております。みなさまも良い年をお迎えください。

原稿担当：竹中 直（チョク）

